

第8回 起立不耐症研究会 ～ 病態と治療・さまざまな症状 ～

10/25時点

【プログラム】 2025年11月30日（日） グランパークカンファレンス401ホール／オンライン

10:15～10:20	開会挨拶 佐藤 恭子（東京女子医科大学附属 足立医療センター 内科・リハビリテーション科）	
10:20～11:20	POTSの病態理解から個別化治療へ：自律神経バイオマーカーの役割 佐藤 恭子（東京女子医科大学附属 足立医療センター 内科・リハビリテーション科）	講義 自律・循環
	18歳以降も通院を継続しているPOTS患者の特徴 田中 学（埼玉県立小児医療センター 総合診療科）	一般 実臨床アプローチ
	体位性頻脈症候群と起立性低血圧児の自律神経機能の相違の解明—24時間心拍変動解析を用いて— 重光 幸栄（桜こどもクリニック本八幡/順天堂大学小児科）	テーマ 自律・循環
	小休憩	
11:25～12:00	体位性頻脈症候群のサブタイプ分類と副交感神経の活性との関係 小川 禎治（兵庫県立こども病院 循環器科）	テーマ 自律・循環
	起立不耐症を克服するメンタルトレーニング 高橋 浩一（山王病院 脳神経外科）	一般 実臨床アプローチ
12:00～13:00	昼休憩 （POTS and Dysautonomia Japanよりトピックスなど）	
13:00～14:05	【特別講演】宇宙医学研究から見てきた前庭系と起立時血圧調節の関係性 安部 力（福井大学 学術研究院医学系部門 医学領域 形態機能医科学講座 生理学分野）	特別
	コロナウイルス感染後遺症患者の起立不耐症に関わる平衡障害の重要性と体位性起立頻拍の役割 三羽 邦久（ミワ内科クリニック）	テーマ 自律・循環
14:05～14:15	休憩	
14:15～15:15	難治性の病態に対する内視鏡下 上咽頭擦過治療（EEAT）と鼻内翼口蓋神経節刺激（INSPGS）の手技について 萩野 仁志（はぎの耳鼻咽喉科）	テーマ 実臨床アプローチ
	消化器症状に対する漢方治療 ～山本巖流漢方～ 上松 章子（久留米大学医療センター 先進漢方治療センター 漢方循環器科）	テーマ 実臨床アプローチ
	小児における外傷後の起立性調節障害と頭部外傷後注意事項の再検討について 高木 清（我孫子聖仁会病院 正常圧水頭症センター）	一般S 中枢・髄液
	頭部外傷後の慢性頭痛に対する硬膜外気体注入療法 田村 徳子（あつち葛飾クリニック 脳神経外科）	一般S 実臨床アプローチ
15:15～15:25	休憩	
15:25～16:25	体位性頻脈症候群における持続性注意障害 川間 健太郎（東京都立神経病院 脳神経内科）	一般 自律・循環
	ME/CFSやLong COVIDに対する免疫療法 —海外の動向も含め— 佐藤 和貴郎（国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 免疫研究部）	講義 免疫・感染・炎症
	コロナウイルス感染後遺症に対する硬膜外気体注入療法ならびに体組成評価について 厚地 正子、安斎 智彦（あつち葛飾クリニック 脳神経外科）	一般S 免疫・感染・炎症
	Short-Form 36を用いた硬膜外気体注入療法の有効性の検証：単施設後ろ向き研究 稲葉 祐（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座/あつち葛飾クリニック）	一般S 実臨床アプローチ
16:25～16:30	閉会挨拶 佐藤 恭子（東京女子医科大学附属 足立医療センター 内科・リハビリテーション科）	
16:30～	ネットワーキング	

各発表時間（合計時間（発表＋質疑））

特別：45分（35分＋10分）、講義：25分（18分＋7分）、テーマ：20分（14分＋6分）、一般：15分（10分＋5分）、一般S：10分（7分＋3分）